

ごとう通信

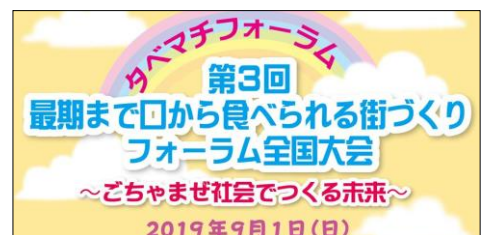
第 224 号

令和元年 8 月 1 日

梅雨が明けないかと思いましたが、明けると暑いですね。夏に入るとウダウダ暑くて汗がだらだら。ま、そうですよね。ただ、一っだけ知りたいたいとがあつて、昔から夏は暑くて汗もかいていました。どこかで不快感が上がった気がします。以前、訪問から帰ってきて診療室の温度計を見ると40度という日もありましたが、今より不快感が少なかった気がします。何が変わったんですかね。来年、オリンピックに世界から来るトップアスリートが最高のパフォーマンスをしてほしいと思いますが、「東京の暑さに負けた」という人が続出しそうです。

さて、先月は看護師対象のセミナーを3本やりました。2本は訪問看護師対象だったので、在宅での経験を話しました。その中で、本人は「口から食べた」、家族は「食べてもらいたい」、でも医師が「食べてはいけない」と言われているというケースの話をしました。僕たちの周りではよくある話です。僕は人権の問題は全く分かりませんが、医師が「食べてはいけない」という権利があるのか？ということも考えています。実は、医療者に言われたので食べていません、食べられませんということであっても、僕たちが介入することで食べられるようになった方はいるのです。

そんなことから、一般市民の気持ちから盛り上げていきたい、病院でなく地域から盛り上げたいという思



いから「最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会」を2年前から高田馬場で開催しています。今年も9月1日に「第3回大会」を開催します。住民招待券（無料）もありますのでご興味がある方はお声がけください。ふれあい歯科ごとうでもご用意できます。

介護とお金

もしかしたら全く反対の意見の方もいるかもしれません。実は、日本の医療、介護の保険制度は全世界が驚愕するほど素晴らしいものです。で